

労働力不足解消に新たな一手 営農企画課、JAあきた白神無料職業紹介所

管内の喫緊の課題となっている農業の労働力不足を解消するために開発されたアプリの説明会が6月22日に開催されると、アプリを開発したKamakura Industries(株)の原代表が、アプリの特徴や生産者側の使用時の注意点などを分かりやすく解説してくれました。参加者らは手元にスマートフォンを置き、操作しながら熱心に聴講していました。

営農企画課では「無料職業紹介所の活用促進と並行して、本アプリを積極的に活用頂き、気軽に農業者と求職者が結ばれ、農家の人手不足の解消に加え、農業に関心をもつきっかけにもなってほしい。」と本アプリに期待を寄せています。



スマホを操作しながら聴講する参加者



「あきた白神米」を贈呈し選手らを激励する

能工バスケット部の活躍を期待して

生活課

平成24年度から継続して実施されている能代市の「バスケットの街づくり推進計画」の一環で、全国制覇を目指す能代工業高校バスケットボール部を応援するため「あきた白神米」の贈呈式を行いました。

贈呈式では親元を離れてバスケットボールに打ち込む同部の寮生と下宿生（47名）に対して一人一俵を齊藤能代市長と佐藤組合長が選手らに手渡しました。

佐藤組合長は「日本一のあきたこまちをたくさん食べて、活躍する姿を期待しています。」と激励すると、寮長を務める篠塚蓮哉選手（3年）は「いつも応援いただきありがとうございます。日本一を目指し頑張ります。」と力強く語ってくれました。

白神初!初物きゃべつ目揃い会!初リモート形式開催!!! きゃべつ部会

きゃべつ部会（塚本勝彦部会長）は6月9日出荷目揃い会を開催すると、部会員や県内の市場関係者ら約30名が参加しました。

例年の出荷目揃い会には、首都圏の市場関係者などから多数参加頂くが、コロナ禍の影響で、参加を見合わせることにし、代表して東京在原青果(株)からリモート形式で参加頂き市場・他産地の情勢を報告してもらいました。

スクリーンに映し出された東京在原青果(株)江崎部長は「消費者は今、コロナ禍において品質に敏感となっている。他青果物においても出荷時の品質をしっかりと確保してください。」と白神青果物に対して期待を込めて情勢を報告してくれました。



スクリーン越しに意見交換したリモート目揃い会



各施設でそれぞれの栽培技術の情報共有を図る

菌茸部会施設巡回で情報共有 菌茸部会、藤里営農センター

7月2日に菌茸部会（加藤博正部会長）は、部会員個々の舞茸などが伏せ込まれた施設を巡回すると、今後の収穫までの作業工程や施設の状況等を確認しながら、活発な意見交換が行われました。

二ツ井町で昨年からのキクラゲの栽培に取り組んだ部会員の菌床施設を見学した際には、菌床育成にかかる水管理の方法などを質問するなど部会員らはキクラゲ栽培に興味深々の様子でした。

営農指導員の中川聡主査は「キクラゲと舞茸など夏冬の菌床との組み合わせで、生産者の所得増大に繋げてもらいたい。今後も先進地事例など情報を収集して、部会員の皆さんに提案していきたい。」と話してくれました。